

第五次
子どもプラン武蔵野
概要版(案)

子どもプラン武蔵野とは？

子どもと子育て家庭を応援するためのケイカクショです！

社会背景

核家族化や地域のつながりの希薄化、就労やライフスタイルの変化等により、子どもと子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。……………

市の状況

本市では子どもの人口が増加することが予想されており、これまでの子ども・子育て支援の取組みをより充実させるとともに、子どもと子育て家庭を取り巻く問題に対応するために新たな取組みも求められています。

計画

「第五次子どもプラン武蔵野」は、第六期長期計画の分野別アクションプランとして、子ども・教育分野だけでなく、福祉、観光、まちづくり等の分野も含めて市が行う子どもに関わる施策を総合的にとりまとめています。

対象となるのは誰？

▶武蔵野市在住、在勤、在学する18歳までの全ての子どもと子育て家庭、妊娠中の方やそのご家族、地域で子育て支援活動を行っている市民・団体

どうやってつくったの？

▶子どもプラン推進地域協議会の意見、市民や関係団体の声、パブリックコメントなどみんなの声を踏まえて策定

ワークショップの写真(なくてもOK)又はアンケート調査二次元コード

ワークショップの写真(なくてもOK)

いつからいつまでにやるの？

▶令和2年から令和6年まで

どうやって進めるの？

▶子ども施策推進地域協議会にて進捗確認・評価

ゴールは、

武蔵野市で子育てしてよかった！

の声

妊婦と家族

赤ちゃんとお親

幼児



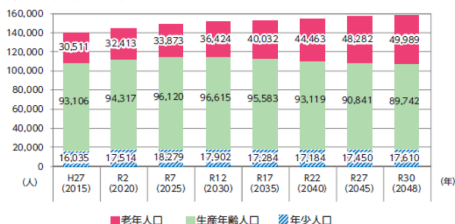
団体スタッフ
(ひまわりママ風)

武蔵野市の 子どもと子育ての現状

人口推計

15歳未満の年少人口は.....

■将来年齢3区分人口（日本人人口）



アンケート 調査結果

主な結果を掲載

詳細はこちら

アンケート
調査二次元
コード

子育て支援 団体の声

主な結果と写真を掲載

指さし坊
やのイラ
スト(👉)

パブリックコメントの
結果及び対応方針



パブリック
コメント
二次元
コード

計画の基本理念

子どもは、一人ひとりがかけがえのない存在として認められ、各人の個性が尊重された成長・発達過程が等しく保障されるべきです。武蔵野市は、子どもと子育て家庭を支え、安心して子どもを産み育てられる環境を整備するとともに、子どもと子育てを応援するまちの実現を目指します。

① 子どもの最善の利益を尊重する社会の実現

子どもは社会の希望であり、子どもと子育て家庭への支援は未来への投資です。子どもの最善の利益を尊重し行動する社会を目指します。経済的、家庭的環境に左右されず、一人ひとりの個性が尊重されるよう、子ども自身のニーズを重視した施策を展開し、未来ある子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくりを進めます。

② 子どもを安心して産み育てられる社会の実現

父母・保護者には子育てについての第一義的責任があるという基本的認識の下に、行政や教育・保育・子育て支援施設、地域団体・NPOなどが連携・協力して、妊娠・出産期からの切れ目のない支援を行う社会的責任を果たし、安心して産み育てられる環境を整備し、子育てしやすいまちづくりを進めます。

③ 子ども・子育てを応援するまちの実現

次代を担う子どもたちを健全に育成することを地域社会全体で共有することが必要です。市民、企業や店舗、子ども・子育て関係団体など、多様な主体による事業を展開し、地域社会全体で子どもと子育てを応援するまちの実現を目指します。

④ 子どもの「生きる力」を育む

子どもは、様々な環境と関わり、経験を積み重ねることで、身近な社会生活、生命及び自然に対する興味が養われ、「生きる力」を身に付けます。子どもが、遊びや体験を含めた様々な学びにより、新しい時代に必要となる資質・能力を育み、自ら課題に気づき、他者と協働しながら課題を解決していく力を身に付けられるよう、多様な施策を推進します。

計画の基本的な考え方

(第六期長期計画の施策の大綱より)

基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

全ての子どもは、一人ひとりの個性に応じた、健やかな成長が保障されなければならない。子どもたちが希望を持ち、健やかに過ごせるよう、それぞれの子どもと子育て家庭に対するきめ細かで切れ目のない支援を行う。

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

父母・保護者が子育てを適切に行えるよう、教育・保育・子育て支援施設、地域団体・NPO等と連携し、協力して、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境を整備し、子育てしやすいまちづくりを進める。

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

次代を担う子どもたちを健全に育成するという目標を地域社会全体で共有し、実践していくため、市民、企業や店舗、子ども・子育て関係団体等、多様な主体による事業を展開するとともに、保育人材や地域の担い手等の確保・育成を推進する。

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

子どもの多様性を尊重し、子ども自身が遊びや体験を含めた様々な学びにより、自ら課題に気づき他者と協働しながら課題を解決するなど、新しい時代に必要となる資質・能力や、個に応じた自信と生涯にわたって続く学ぶ意欲を育むよう、多様な施策を推進する。また、子ども一人ひとりの教育的ニーズに対応するため、指導及び相談支援の体制を充実させる。

基本施策5 教育環境の充実と学校施設の整備

多様化する教育ニーズに応えるために、教員が教育に注力し、子どもと向き合うための時間を確保する。また、学校と地域とが一体となって子どもの成長を支えることができるよう、協働体制をより充実させる。一方、学校施設の老朽化が進み、市立小中学校は更新時期を迎えるため、人口動態も踏まえた長期的な視野に立ち、整備を進めていく。

5つの基本施策と

16の重点事業

重点

1

子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備

全ての子どもの個性が尊重され、健やかな成長・発達ができるよう、妊娠期から子どもと子育て家庭を切れ目なく支援します。

重点

2

児童発達支援センターによる子どもの発達支援の強化

発達に心配のある子どもについて、それぞれの発達段階に応じた適切な支援を受けられるよう、支援体制を強化します。

重点

3

子どもの貧困対策の推進

子どもの現在及び将来が貧困等の環境要因に左右されることのないよう、関係機関の連携のもと、子どもの貧困対策を総合的に推進します。

重点

4

児童虐待・養育困難家庭への支援の強化

児童相談所*をはじめとした関係機関との連携を深め、虐待通告への対応、児童虐待が認められる家庭及び児童の養育が困難な家庭への支援並びに児童虐待を未然に防止するための啓発活動を行い、子どもの健やかな成長を支援します。

重点

5

産後ケア(宿泊型・日帰り型)事業

出産後に家族等から支援を受けることが困難で、育児支援を必要とする母子に対し、心身のケア及び育児の支援、その他母子の健康の維持及び増進に必要な支援を実施することにより、産後安心して子育てができる支援体制を確保し、母子等の心身の健康の保持増進を図ります。

重点

6

希望する保育施設に入所できる施策の推進

希望する保育施設に入所できるよう、保育施設の整備等を進めていきます。

重点

7

保育の質の維持・向上のための取組み

保育の量の充実のために保育施設の整備が進んでいることを受け、保育の質のより一層の充実・向上を図ります。

重点

8

子どもの医療費助成の拡充

全ての子どもが健やかに成長することができるよう、医療費助成の対象年齢を拡充し、子育て家庭の経済的な負担の軽減と子どもの保健の向上を図ります。

重点

9

子ども・子育て支援施設のあり方検討

子どもと子育て家庭が、安心して適切なサービスを受けることができるよう、子ども・子育て支援施設の計画的な整備を行います。

重点

10

生きる力を育む幼児教育の振興

生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である幼児期に、生きる力、自らの人生を切りひらいていく力を身に付けていくための取組みを推進します。

重点

11

中学生・高校生の居場所の検討

地域の中に、子ども自身が安心して過ごし、集うことのできる場所があるよう、子どもの居場所についての検討を行います。

重点

12

英語教育の充実

子どもたちが英語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる基礎的な力を育むため、学校生活で英語を使う多様な機会を確保します。

重点

13

武蔵野市民科の実施

子どもたちが社会の一員として、よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力を育成するために、小学校第5学年から中学校第3学年までを対象に、教科横断的なカリキュラムによる学習を実施します。

重点

14

不登校児童生徒の多様な学びの場のあり方の検討と確保

不登校児童生徒がその状態に応じた学びの場において、指導支援を受け、学校復帰や社会的自立に向けた力を付けられる環境を整えます。

重点

15

武蔵野市立小中学校における働き方改革の推進

教員が子どもたちと向き合う時間の確保、教職員一人ひとりの健康増進のために、教員の多忙化解消に向けた取組みを行います。

重点

16

学校改築の計画的な推進

更新時期を迎える学校施設について、今後の学校教育を見据えて必要な教育環境を整備するため、計画的に改築を進めます。

